

富津市障害者総合支援協議会 会議録

1 会議の名称	令和2年度第1回富津市障害者総合支援協議会
2 開催日時	令和2年6月10日（水） 午前10時～午前11時8分
3 開催場所	富津市役所本庁舎5階 502～504 会議室
4 審議等事項	1 いきいきふっつ障がい者プラン第6期障害福祉計画 （第2期障害児福祉計画）の策定方針及び策定スケ ジュールの報告等について 2 その他
5 出席者名	協議会委員（15名） 吉野晃平 三辻康一 渡邊明美 長谷川初子 島津 太 渡邊浩 三沢彰人 森和浩 多田浩司 小池光徳 井戸義信 渡辺あけみ 大出敏文 神子勇 小泉等 事務局（6名） 坂本秀則健康福祉部長 木村美文福祉の窓口課長 福原規之福祉の窓口係長 渡辺志乃 大森匠（指定相談支援事業所ほうきぼし） 平野百合子（手話通訳）
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非 公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人（定員 5人）
9 所管課	健康福祉部 福祉の窓口課 福祉の窓口係 電話 0439-80-1260
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和2年度第1回富津市障害者総合支援協議会会議録

発言者	発言内容
福原係長	<p>皆様方におかれましては、公私ともにご多用のところ、令和2年度第1回富津市障害者総合支援協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めます、福祉の窓口課福祉の窓口係 係長の福原と申します。宜しく願いいたします。</p> <p>今回の会議は、当初5月20日に予定しておりましたが、国の緊急事態宣言の発令に伴い、本日に日程変更させていただき、大変ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。</p> <p>本来ですと、ここで、委員を引き受けてくださった皆様へ、市長から委嘱状を交付させていただくところでございますが、感染症対策の一環として、直接の接触を避けるため及び、会議時間の短縮を図るために大変失礼であると存じますが、机上に委嘱状を置かせていただきました。何卒ご理解くださるようお願い申し上げます。</p> <p>また、市長におきましては、市議会対応により、本日出席できませんことを併せてお詫び申し上げます。</p> <p>続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>不足があれば挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議は富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、市民の意見を反映させるために設置する審議会等で、市民が構成員に含まれている会議については、法令等に特別の定めがある場合を除き、公開することとなっております。</p> <p>この規定により、本会議につきましても傍聴者の受入れ体制を整備し、会議結果を公表することとしておりますので、宜しくご理解の程お願いいたします。</p>

坂本部長	<p>また、会議録作成のため録音機の使用をさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>始めに、坂本健康福祉部長より挨拶を申し上げます。</p> <p>改めまして、おはようございます。富津市障害者総合支援協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>4月1日の人事異動に伴いまして、健康福祉部長に着任いたしました坂本と申します。宜しく願いいたします。</p> <p>皆様方におかれましては、日頃から本市の障がい福祉行政の推進に、多大なるご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>また、公私ともにご多用のなか、本協議会の委員をお引き受けいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さて、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除された後も、毎日のように東京の夜の街などを中心に新型コロナウイルスの感染者数が報道され、全く気の休まらない日々が続いております。富津市におきましては、幸いにも今のところ感染者数ゼロを保っております。これも市民の皆様のご協力によるものだと思っております。また、各事業者さんや関係機関・団体の皆さまには、感染拡大防止のため、常に感染リスクのある中、また通常とは異なる対応が求められている中、日々ご尽力賜り心より感謝申し上げます。</p> <p>このような状況下におきまして、少しでも各福祉事業所の皆様にお役に立てればと市独自の支援策といたしまして、感染症対策に係る経費の一部に充てていただきたく、給付金を支給いたします。昨日、該当する事業者の皆様へ案内の発送をいたしました。消毒液やマスクの購入などに少しでもご活用いただけたらと考えております。</p> <p>緊急事態宣言は解除されましたが、ウイルスが消滅したわけではないため、皆様方のご協力を賜りながら、気を引き締めて今後とも対策を講じてまいります。</p> <p>また、後ほど事務局より説明を申し上げますが、今年度は、次期障害福祉計画・障害児福祉計画の策定を予定しております、この計画は、</p>
------	---

<p>福原係長</p>	<p>国の基本指針に即して、全国一斉に各市町村で策定されるものであります。</p> <p>委員の皆様方には、計画の策定にあたり、本市の障がい福祉行政に関する忌憚のないご意見やご助言をいただけますよう、宜しく願い申し上げます。</p> <p>結びにあたりまして、一日も早い新型コロナウイルスの終息をご祈念するとともに、本市福祉行政の推進のため、引き続きお力を貸していただきたいと宜しく願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。</p> <p>続きまして、委員の皆様をご紹介します。時間短縮のため、事務局から名簿順にご紹介させていただきます。</p> <p>(名簿順に各委員を事務局が紹介)</p> <p>次に、事務局を紹介いたします。</p> <p>(事務局の紹介)</p> <p>続きまして、今年度から新たに就任いただいた方もいらっしゃいますので、会議次第の4. 富津市障害者総合支援協議会について簡単に説明いたします。</p> <p>お配りしております基本構成図をご覧ください。本協議会は障害者総合支援法第89条の3第1項の規定に基づき、地域における障害福祉サービスを円滑に実施するために設置され、誰にとっても住みやすいまちづくりを目指す協議会です。</p> <p>協議会の下部組織として、「就労支援部会」・「地域生活支援部会」・「子ども部会」・「権利擁護部会」の4部会があります。4部会とは別に、協議会全体の運営を円滑に行うための「連絡調整会議」、障がいを理由とする差別の解消の推進に関することを協議・検討する「障害者差別解消会議」、協議会の広報活動に関することを協議・検討する「広報会</p>
-------------	--

	<p>議」、事例検討を行う「相談支援関係事業所連絡会」で構成されています。</p> <p>次に、設置要綱をご覧ください。こちらは、本協議会の基本事項を定めておりますので、ご一読いただきますようお願いいたします。</p> <p>この要綱第6条で「協議会の会議は、会長が招集し、その会議の議長となる」となっておりますが、まだ会長が決まっておりませんので、ここで会長及び副会長が決まるまでの間、坂本部長を仮議長として、議事を進行したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>・・・異議なしの声あり・・・</p> <p>それでは、仮議長を坂本部長といたします。</p> <p>坂本仮議長 改めまして、仮議長を務めさせていただきます。</p> <p>始めに、本日の出席者は15名ですので、富津市障害者総合支援協議会設置要綱第6条第2項の規定により、過半数以上の出席がございますので本会議は成立します。</p> <p>それでは、会議次第の5. 会長及び副会長の選出についてを議題といたします。設置要綱の第5条に「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とございます。どなたか立候補またはご推薦ございますでしょうか。</p> <p>多田委員 推薦なのですが、どんぐりの郷施設長の渡邊委員に会長をお願いしたいと思います。それと副会長に地域作業所和楽の小池委員を推薦いたします。</p> <p>坂本仮議長 ただ今、多田委員より、どんぐりの郷施設長の渡邊委員を会長に、また地域作業所和楽の小池委員を副会長にとのご推薦がございましたが、皆様いかがでしょうか。</p>
--	--

<p>福原係長</p>	<p>・・・異議なしの声あり・・・</p> <p>ご異議なしの声が多数でございますので、会長を渡邊委員に、副会長を小池委員にお願いしたいと思っております。</p> <p>会長及び副会長が決まりましたので、仮議長の職をここで解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、渡邊会長、小池副会長は、会長、副会長の席にお付きいただきますようお願いいたします。</p> <p>ただ今、新しい会長と副会長が決まりましたので渡邊会長・小池副会長にご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
<p>渡邊会長</p>	<p>皆さんこんにちは。皆様の方からご指名いただきまして、引き続き会長を務めさせていただきます、どんぐりの郷の渡邊です。どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>去年の台風につき、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大により、市内は元より、全世界の障がい者の皆さんが、困り果てているといっても過言ではないと思っております。施設にも通えず、外出もできず、入所している方は外泊もできず、かなり精神的な負担があると思っております。昨年台風も停電が長く続いて、外に出られないことがありました。障がいのある方だけではないのですが、障がいのある方は、一般の方以上に困っていると思っております。何とかこの協議会でも富津市内の障がい者の方々への対策も課題が見えてきましたので、今後各部会等で検討してもらって、新型コロナウイルスのワクチンや特効薬ができて落ち着くのが一番いいのですが、なるべく困らないような体制をとっていただければと思っております。皆様のご協力をいただいて、動いていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。</p>
<p>小池副会長</p>	<p>この度、副会長という大変重い役を仰せつかりまして、緊張しております。先ほど会長も仰っていましたが、新型コロナウイルスの影響</p>

	<p>で、研修会やイベントが中止や延期となり、随分制限を受けてなかなかやりたいこともやれないような状況になっていますけれども、こういった困難な状況だからこそ今まで良く分からなかったことが見えるようになってきたのも確かです、改めて本当に大事なことは何かと優先順位の見直しが自分の中でできていると思っています。良い意味でも悪い意味でもこういった困難なことは、忘れていってしまうので、今こういった状況であるからこそ忘れないようにして、どういう風にしていったらいいのかを考えるいい時期だと捉えています。いずれにしてもこの先の未来をどう作っていかうかと考えざるを得ないので、その考えるきっかけをこの状況がくれたんだと思いながら、できないことはできないですが、できることをしっかりやっとうと思えます。協議会全体としてもそういう風にできたらいいなと思えます。宜しくお願いします。</p>
<p>福原係長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、部長の坂本につきましては、所用のため退席させていただきます。</p> <p>それでは、これからの議事進行は渡邊会長にお願いいたします。</p>
<p>渡邊議長</p>	<p>議長として会議を進行させていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>では、早速議題に入りますが、始めに会議録署名人を決める必要があります。私の指名する方をお願いするということでご承認いただけますでしょうか。</p> <p>・・・異議なしの声あり・・・</p> <p>ありがとうございます。では、あゆみの会の長谷川委員と君津ふくしネットの島津委員のお二人をお願いいたします。</p> <p>なお、お二人の方には、事務局で会議録を作成し、後日お伺いしま</p>

<p>木村課長</p>	<p>すので、確認のうえ署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第の6. 議題に入ります。</p> <p>議題1、いきいきふっつ障がい者プラン第6期障害福祉計画（第2期障害児福祉計画）の策定方針及び策定スケジュールの報告等についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p> <p>（資料1～3を順に説明）</p> <p>※第2回富津市障害者総合支援協議会について、書面開催とすることについての可否を後ほど審議していただきたい旨を依頼。</p>
<p>渡邊議長</p>	<p>ありがとうございました。いきいきふっつ障がい者プラン第6期障害福祉計画（第2期障害児福祉計画）の策定方針及び策定スケジュールの報告等について説明がございましたが、皆様の方から何かご意見はございますか。</p>
<p>島津委員</p>	<p>策定方針の2（3）の中で、「富津市人口ビジョン2040」と「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」から障害福祉サービス提供にあたる部分との関連が見えてこないところがあって、また富津市の総合計画との整合と、本来であれば地域福祉計画があって障害福祉計画がその下にぶら下がってくると思うのですが、同時に今年度やっていくのであれば、それぞれの整合性や進捗を策定方針に盛り込んでいかなければならないのかなと思います。その辺りをお聞きしたいと思います。</p>
<p>木村課長</p>	<p>お答えいたします。総合計画の策定につきましては、今年度から策定に着手することにより、現在では未策定であるため、今回の策定方針には記載をしていないところでございます。</p> <p>また、地域福祉計画につきましても本来であれば、仰る通り福祉行政全般に対する計画として定めていくことが必要であるということでございますけれども、策定が目途さえ立っていないというのが現状で</p>

	<p>ございます。従いまして、各分野別の計画をそれぞれ定めていくということになるのですが、大元となる市の考え方、方向性を示したものとしては、「富津市人口ビジョン 2040」と「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」となります。「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の中に、障がい福祉の項目を第2期に新たに相談体制整備ですとか就労に向けた支援の検討といった項目を追加しております。以上のことを踏まえて「富津市人口ビジョン 2040」と「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を意識して連携調整を図るということで、このような表記にさせていただいております。以上でございます。</p>
<p>島津委員</p>	<p>内情はよくわかっています。例えば平成 30 年 3 月に策定した第 3 次基本計画は確か 9 年スパンだったと思いますが、今年度中に市の基本計画などができた中で、第 3 次の基本計画も PDCA サイクルで見直しをしていただければいいのかなと思っています。また、地域福祉計画については、私も部長在職時になかなか予算も取れず、できなかったのは私も申し訳ないなと思っていますが、是非こちらも併せて福祉の総合計画となりますので、他課が担当となると思いますが、宜しくお願ひしたいと思っています。</p> <p>それから、地域生活の拠点整備と基幹相談支援事業所の整備について、今どの程度進捗しているか聞かせていただければと思います。</p>
	<p>木村課長</p>
	<p>お答えいたします。まず地域生活支援拠点につきましては、令和元年度の新型コロナウイルスの影響が出る前までに、市内事業所の皆様、協議会の委員さんや各部会の部会員さん方に、5つのワーキンググループを立ち上げていただきまして、課題等検討した結果を令和元年度第2回の協議会にて報告をさせていただいたところでございます。多くの課題等の洗い出しを行っていただいたところでございますが、2月以降色々なものがストップしてしまっている状況でございます、それ以降進展はしておりません。ただ、今年度中に全ての調整を可能な限り行って、令和3年4月の設置・開始に向けて努力してまいりた</p>

	<p>いというところでございます。</p> <p>また基幹相談支援の整備につきましても必要な条件等の整備はある程度できておりました、あとは一番大きな課題といたしましては、人材確保、市の課題といたしましては予算確保といったところでございますが、だいぶ煮詰まってきておりますので、令和3年度の当初予算において予算確保できるよう、きちんと揃えた内容を提示していくとともに、人材確保につきましても皆様のお知恵をお借りしながら進めてまいりたいと現在のところは予定しております。以上でございます。</p>
島津委員	<p>先ほど課長の方からアンケート調査を 1,500 人対象にやると説明がありましたが、障がい種別毎の人数の内訳はもう決まっているのでしょうか。</p>
木村課長	<p>お答えいたします。皆様ご承知のとおり、3障がいの手帳所持者の数で申し上げますと、身体障害者手帳をお持ちの方が比率としてはほとんどを占めておりますことから、それを単純に 1,500 人抽出するかどうかというのは、今後検討していく必要があると考えております。事務局といたしましては、それぞれの障害者手帳をお持ちの方の数を 1,500 で割り返して、できるだけ比率を等分にしていきたいと考えております。身体障害者手帳をお持ちの方は 1,719 人、精神保健福祉手帳をお持ちの方は 280 人弱、療育手帳をお持ちの方は 450 人弱ですので、1,500 を合計値でかけてしまいますとどうしても身体障害者手帳をお持ちの方が多くなってしまいます。手帳をお持ちの方の数を 1,500 で割り返しますと大体 60%になりますので、それぞれに約 60%を乗じた数値で行いたいという考え方が 1 つと、子どもと成人も全然数が違いますので、やはり子どものニーズに配慮した数値の割合を検討していきたいと考えております。まだ何通ずつですと明確に申し上げられません。申し訳ございませんが、そういった考えで進めて参りたいと考えております。</p>

島津委員	<p>今説明にありました身体障害者手帳に関しては、年齢構成が 65 歳以上の方がかなり多かったと思います。障害福祉計画を策定していくうえで、65 歳以上の方は介護保険の適用になっている方が多いと思うのですが、その辺をアンケート実施する上では少し考えなければならぬのかなと今までも感じてはいたのですが、なかなか回答率が上がらないということもあったので、考えて抽出をお願いしたいと思います。1,500 という数はもう仕様書で決めてあるのでしょうか。</p>
木村課長	<p>1,500 名というのは仕様書に記載してございます。先ほど申し上げた通り、全手帳所持者の 6 割程度の方に対してアンケートを実施できるということで、十分な方からニーズ等ご意見をいただければと思います。以上でございます。</p>
渡邊議長	<p>それでは、他にご意見やご質疑ございますか。</p>
森委員	<p>私もアンケートの 1,500 というところで、どういった対象なのかなと一番気にかかっていたのですが、その辺は聞きましてわかりました。</p> <p>それで、第 2 回協議会のところで、アンケート案を書面で回答を得て調整をしていくということですが、私たちが書面で答えて、調整した後、誰が審議するのかというところが気にかかったので教えてください。</p>
木村課長	<p>お答えいたします。まず現在の状況から申し上げますと、国からアンケートのテンプレートのようなものが出ておりますので、そちらを基に、先ほど申し上げました委託したコンサルタント業者とやりとりをしながらアンケート案を作りまして、皆様方にお送りして、簡単に申し上げればもっとこういう項目が必要なのではないかというご意見をいただければありがたいことですし、設問に関して、これはおかしいのではないか、または要るのか要らないのかなど、様々なご意見をいただきたいと思いますと考えております。そのいただいたご意見をとりまとめ</p>

	<p>て一覧表にしまして、いただいたご意見に対してどういった対応をさせていただくのかといったような、回答一覧表のようなものを作成させていただこうと思っております。それを基にアンケートの素案を修正いたしまして、それを皆様にお送りさせていただこうと考えております。大変申し訳ないのですが、それを何度もやりとりをしていると8月のアンケート実施がずれ込んでしまうこともございますので、最低限1回、もし時間が許すのであれば、直したものをお送りさせていただいたものに関してもう1度ご意見をいただくということで、最高で2回の協議を考えさせていただければと思っております。以上でございます。</p>
森委員	<p>1回回答して、返ってきて、それで審議するというのはできないのですね。</p>
木村課長	<p>お答えいたします。皆様方にもう一度集まっていれば一番ありがたいことなのですが、時期的に1ヶ月から1ヶ月半後となりまして、皆様お忙しい中であると思っておりますので、書面会議とさせていただきたいというご提案をさせていただいております。このあと、それに関して会長から皆様にお諮りいただければと先ほどお願いさせていただきましたので、お諮りいただくときに、今大変ありがたいご意見をいただきましたので、そういったことを皆様方の方で、集まった方が良いのではないかとご決議をいただければ、第2回会議の日程調整をさせていただければと思っております。以上でございます。</p>
渡邊議長	<p>他にご意見やご質問ございますか。よろしいですか。</p>
三辻委員	<p>先日、ニュースで報道されたのですが、全国で聞こえない人が、直接会わなくてもオンラインで手話通訳を利用できるという手話通訳のオンライン化というのを国に要望して、国の予算もとれたそうです。近々始まるのではないかと思います。県・市にはまだ下りてきていな</p>

<p>木村課長</p>	<p>と思うのですが、オンライン化というお話があるということをご承知いただきたいと思います。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。確かに、こういった社会状況の中、三辻委員の仰ったようなオンラインによる様々な障がい福祉サービスの提供も今後展開が図られるものと予想ができますので、市といたしましても、皆様方のニーズを把握していく中で、必要性が高いというものを選定いたしまして、順次実施していければと思っておりますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。</p>
<p>三辻委員</p>	<p>ありがとうございます。車いすを利用している方などもそうですが、市役所で集まるということがなかなか難しい状況でありますので、タブレットなどを使って会議ができるようになれば安心できるかなと思います。</p>
<p>渡邊議長</p>	<p>他に何かご意見やご質問ございませんか。</p> <p>無いようですので、議題1、いきいきふっつ障がい者プラン第6期障害福祉計画（第2期障害児福祉計画）の策定方針及び策定スケジュールの報告等についてはご了解いただきたいと思います。</p> <p>それでは、先ほど第2回富津市障害者総合支援協議会の会議につきまして、書面で開催する旨の説明がありました。これについて皆様何かご意見やご質問ありませんか。</p>
<p>島津委員</p>	<p>事務局からアンケート案を送ってくれた中で、委員の方からかなり色々な修正や意見がたくさん出てきた場合は、書面でやるのは難しいのかなと思います。軽微な変更であれば書面で良いのかなと思います。ですから、アンケート案ができた段階で委員に投げて、意見をもらった中で、多い少ないの線引きが難しいですが、修正が多かったり、重要な変更が必要なようであれば、やはり集まった方がいいのかなと私は感じます。</p>

木村課長	<p>そういたしましたら、前提として、1度皆様方にアンケート案をお送りさせていただき、それに対していただいたご意見がどのような内容と分量なのかということをお聞きし、2回目にお集まりいただくかどうかということをお聞きし、それについてよろしいかどうかをお聞きしたいと思います。</p>
渡邊議長	<p>それでは、アンケート素案について皆様のところに郵送し、それに対してご意見があれば事務局へ返送し、その内容によって大幅な変更があったときは、事務局の判断で書面ではなく会議を開催するということよろしいでしょうか。</p> <p>・・・異議なしの声あり・・・</p> <p>異議なしの声が多数でありますので、大幅な変更があったときは、皆様にご案内してお集まりいただき、また軽微な変更に関しては、事務局の判断で修正するというようお願いしたいと思います。</p> <p>次に、議題2. その他でございますが、皆様から何かございますでしょうか。</p>
島津委員	<p>先ほど坂本部長の挨拶の中に、事業所への富津市独自の給付金のお話がありましたが、もう少し具体的に教えていただければと思います。</p>
木村課長	<p>お答えいたします。冒頭の部長挨拶の中でお話のありました市単独の給付金でございますが、これは、障がい者福祉又は高齢者福祉の施設を運営している事業者の皆様方に対する給付金でございます。大まかに申しまして、入所施設を運営している法人にしましては一律10万円、複数の事業所を運営している法人には一律5万円、1箇所の運営ですと一律3万円の支給をさせていただきます。市といたしましては、感染症対策に必要なマスクや消毒液などの消耗品の購入にご活用いた</p>

	<p>だきたいという内容になっております。詳細につきましては、昨日各法人さん宛てに通知を出させていただいております、交付要綱を同封いたしておりますので、そちらをご確認いただきたいと思います。</p> <p>また、申請書も同封しております、それを返送していただくことで手続きが完了するような簡素な方法をとってございますので、内容をご確認くださいようお願いいたします。宜しくお願いいたします。</p>
島津委員	それは、市のホームページには掲載されていますか。
木村課長	はい、市のホームページのトピックスにございますので、そちらをクリックしていただければご覧になれるようになっております。
渡邊議長	他に何かございますか。
	無いようですので、事務局から何かありますか。
福原係長	特にございません。
渡邊議長	無いようですので、以上をもちまして、本日の富津市障害者総合支援協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。